

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第11号 2019.11.4 発行

特集号のつもりでしたが・・・

皆さんからの発信を集めて特集号とするつもりでしたが、口は達者でも『文字にするとなると・・・』というシャイ？方が多いなか投稿を頂きましたので、情報にカビが生えないうちに通信として発行します。

◆ 炉石採取

遺跡住居の炉を作成するため、塩川に流れ込む溪流へ今回は安山岩を採取に。石斧材料の採取の時とは違い、河原に落ちている石を探すのではなく、川の流れの中から結構大きな岩に縄を掛けて崖の上まで引き上げる重労働でした。



縄掛けはムリ！そこは熊造園さんにお任せ

One-teamで力を合わせて せ——っの！！



ムラサキシメジ



縄文人もこうやって運んだのかなあ～

ピラミッドの石もこうしたかな？

あれは丸木のコロを使ったでしょう

◆ 垂木縛り付け

フジヅルを使って、垂木を梁に縛り付けていきます。保存状態が良くなかったようで採っておいたフジヅルにカビが発生してしまい、水に浸して戻すと切れてしまって使い物にならない部分が多く出てしまいました。次回は(?)保存管理の方法に対策が必要です。



水に浸して戻すのに大忙し。
ひっぱってみると、プチプチと切れてしまうものもありますが、短いものも結んで繋げて使います。



中嶋さんにせっかく写していただいたので、、、
使わないわけにはいきません



◆ お知らせ

11月16日(土)梅之木遺跡公園で北杜市開催の『クリの植樹と縄文ジビエ体験会』が開催されます。興味のある方はご参加ください。詳細は <https://hokuto-maibun.com/?p=1596> で確認を!

縄文住居をつくる会への参加

とりたてて、土木女子でも、古墳女子でもない私が、この企てに参加してしまった、いきさつは、「見学のみでもOK、差し入れ大歓迎」の一文を見た事からでした。

あめ玉を持っていけば、見学させてもらえるものと、勝手に解釈して夫の背中に隠れて、おずおずと、あの梅之木古墳の大草原に足を踏み入れたのが、そもそもの始まりでした。

そこには、心広いメンバーが「良く来た!よくきた!」と、もろ手を広げて待っていてくれました。

藤の根っこ堀り、住居の穴掘り、生木のかわはぎ、丸太を転がしての根元焼き等々、何でも体験させて頂きました。(?)

男女機会均等とは、このような事かと、妙に納得しながら、何時の間にか、軍手に長靴、手にはシャベルと言うスタイルが、板についた私が出来上がっていました。

「あれー私こんな姿を望んでいたんだっけ?」と時々おもいかえしながらも何も出来ず

お邪魔ばかりの気の弱い私を受け入れてくださる縄文心を持った皆様の、あの雰囲気が好きで、ついつい足が向いてしまいます。

大きな玩具を貰って、目をキラキラさせながら、大真面目に遊んでいる皆さん、このか弱い乙女も時々仲間に入れてください!

秋澤礼子